

<グループワーク>

試験区分	ページ
大学卒	1
高専・短大卒	2
高校卒	3

## <大学卒>

### **課題 「神戸市における生物多様性保全への取り組み」**

適切に伐採・管理され、森の中に光が入る里山は、多様な生物がすみやすい環境になります。

また、棚田や畑が耕作放棄されると、田畑やため池は荒れ、次第に竹林に覆われたり、暗い森に遷移していくため、水辺や草原をすみかとする生物が生きることができなくなります。

神戸市が2024年に行ったネットモニターアンケートによって、市民の生きものや自然環境の知識や認知度は高いものの、外来種防除活動や保全活動への参加率は低いということが判明しました。このことから、幅広い知識や高い認知度が必ずしも行動に繋がらないという結果が得られました。

これからの神戸市において、市民に生物多様性保全について関心を持ってもらい、環境保全のイベントや保全活動に多くの人に参加してもらうには、行政としてどのような取り組みをすればよいか、またそれを実施するに当たっての課題と解決方法について、グループで議論し、意見をまとめてください。

## <高専・短大卒>

### **課題 「大阪・関西万博開催に伴う神戸市のPR施策」**

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）では、160か国を超える国・地域・国際機関が参加し、各国の多様な技術革新や伝統、取り組みを紹介しています。万博の開催は、国内外から多くの方が来訪することによる大きな経済波及効果が期待されています。神戸市は、この機会に、万博を関西全体で盛り上げるとともに、神戸市ならではの先進的な産業・文化など、多彩な魅力を国内外の方へ発信するための取り組みを行っています。

例えば、神戸港から万博会場までの体験クルーズ付きの万博無料招待事業の実施や、市内企業やアーティストと連携しながら、地場産業の試飲・試食や、来場者参加型のアートイベント等、万博会場での催事の実施も予定しています。

関西圏外の観光客へ、万博を通して関西全体の魅力を発信し、更なる神戸市への観光客誘致につながるには、行政としてどのようなPR方法が効果的か、グループで議論し、意見をまとめてください。

## <高校卒>

### **課題 「空き家の活用促進に向けた取り組み」**

適切に管理されていない空き家・空き地は、地域住民の生活環境に深刻な悪影響があります。神戸市では、適切に管理されていない空き家・空き地に対する改善依頼や指導等に取り組んでいます。

例えば、地域交流の場所として使うことを前提に、空き家・空き地を持っている人に、「神戸市空き家・空き地地域利用バンク」へその物件を登録してもらい、物件を使いたい人とマッチングさせる取り組みを行っています。そのほか、空き家を地域利用や社会貢献のために使う場合、市が改修費用や片付けの費用を補助するという取り組みも行われています。

このような空き家・空き地の地域利用について、具体的にどのようなものが考えられるか、またそれを推進するために、行政としてどのような取り組みを行えばよいかについて、グループで議論し、意見をまとめてください。